

トライアル企画

(1) 検証内容

広場の使い方や実施条件（内容、車両の乗り入れ、火器、トイレ・水道、周知方法）の検証を行う。

(2) 実証実験の結果

①広場の使い方について



ピクニックエリア



Welcomeボード

＜結果＞

- ・駐車を設けなかったが、車両は整列して駐車された。
- ・駐車場①は、10台駐車したが、さらに数台分の駐車が可能。
- ・一般参加者の多くは、自転車と徒歩（内、ベビーカー4台）。
- ・ピクニックエリアは区画をせず、自由にピクニックをした。
ポップアップテント、レジャーシート、椅子等を使用して、
各組が適度な距離感を保ちながら、好きな場所を拠点として活動していた。
- ・広場が南北に長く広いため、のぼり旗や看板は有効だった。

②ピクニック企画について

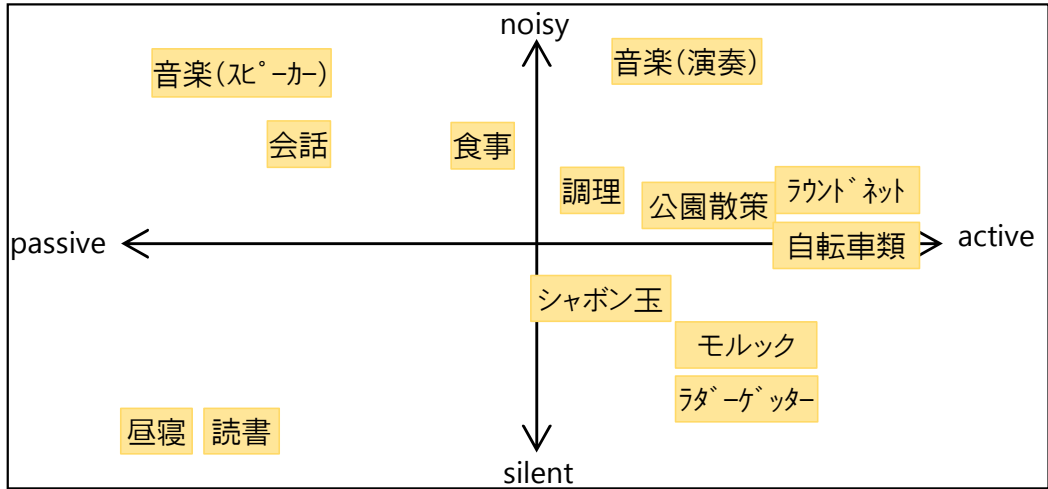
＜前提条件＞

- ・事前予約なし。出入り自由。広場としても通常開放する。
- ・必要なものは参加者が各自で準備し、ゴミは持ち帰る。
- ・15組程度の小規模な参加を想定する。
- ・一般車両の侵入可能時間は、10時～13時（企画チームは準備片付けのため前後1時間も可）とする。
- ・火器調理はガス類（カセットコンロ等）に限定して可とする。
- ・トイレ・水道がないため、近隣施設を利用する。
- ・周知は一週間前に開始し、SNS（和光市公式X(旧Twitter)、和光市公式LINE）と口コミに限定する。

＜参加者の行動＞

- ・カセットコンロ等のガス調理器具を使っでの調理と食事
（ホットサンド、ポップコーン、パエリア、たこ焼き、芋煮、ラーメン等）
- ・お弁当等の調理を必要としない食事
- ・会話、おしゃべり
- ・自転車、一輪車、三輪車、スケートボード
- ・モルック、ラダーゲッター、ラウンドネット、バドミントン
- ・シャボン玉
- ・音楽（スピーカーで聴く、太鼓の演奏）
- ・読書、昼寝
- ・竹で工作
- ・公園散策、犬と散歩

など

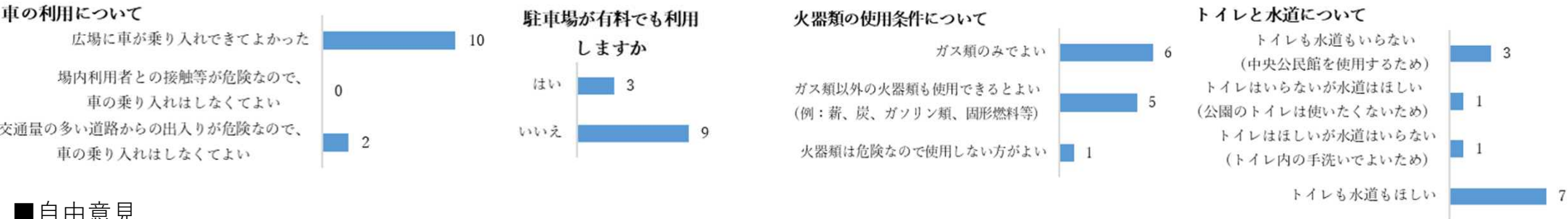


＜結果＞

- ・異なるグループメンバーによる交流もあり、特に子どもが他グループの活動を体験する場面が多く見られた。
- ・必要な物は各自で用意し、ごみは各自で持ち帰ることができていた。
- ・29組68名の参加があり、空間に対して適度な参加数を得られた。参加数が増える場合は、区画割りを検討する必要があった。
- ・トイレは、中央公民館を利用した参加者もいたが、近隣店舗での買い物と併せて利用する参加者が多かった。
- ・キャンプ場と同等のマナーを求める参加者がいた。
- ・音楽を含めて参加者の活動は自由だったため、活動の趣向の違うグループには説明が必要だった。
- ・ペット同伴のグループが見られた。
- ・参加者はSNS、口コミ、のぼり旗・看板で企画を知って来場していた。
- ・周知方法を企画規模にに応じて限定したことは有効だった。
- ・秋企画の参加者で、公共空間利活用プロジェクトに参加したい人と出会った。

③市民ニーズ調査について

■電子アンケート結果



■自由意見

車両の進入	・車両出入口から反対側へ徒歩で渡る姿が散見された。事故の危険性やクレーム等が心配。目を離した隙に子どもが飛び出してしまわないか心配。
広場の使い方	・多目的広場で使用できれば良い。 ・スケボー、ドッグラン、テント張して家族連れで遊べるようにしてほしい。 ・地域に開放して利用。 ・保育園の外遊びでも利用してるため、園児も遊べる場所は変わらず残して欲しい。 ・花火を出来る場所として開放してほしい。 ・自転車の練習や花火など子どもと楽しめる機会や場所がもっとあればいいと思う。
アウトドア利用	・車の乗り入れが可能であれば、キャンピングカー等での、飲食販売で和光を盛りあげられるのではないかな。 ・水回り・炊事場(炭火可)の設置があれば、デイキャンプ等の利用によい。 ・ちょっとバーベキューができる場所があると良いので、今後ぜひ開放してほしい。 ・ガス以外もOKだと混雑しそうなのでガスのみが良い。 ・焚き火や、薪を使ったBBQのほうが、よりいい。
広場内の整備	・小石が多く、小さな子どもが遊ぶには危ない。 ・公園らしくするには、ベンチや花壇があるとよい。
トイレ・水道	・最初からトイレ、水道を設置する必要は無い。イベントが大きくなれば、仮設のトイレ、水場を作ればよい。 ・多様な利用には水道とトイレは必須に思うが、管理の課題がある。 ・近隣店舗にあらかじめ交渉しておく。
騒音	・住宅地で騒音問題もあると思うが、簡易的な塀などで対策。
感想	・このような機会があって嬉しいです！ ・お天気も良いし、アクセスも良いし、とても気持ちの良い時間を過ごさせていただきました。ぜひ、あの広場が有効に活用されることを願っています。 ・常々何か有効活用できればいいのにと感じていたので、今回のような試みは大歓迎です。

車両乗り入れする広場の利用

（1）検証内容

一般には制限している広場への車両の乗り入れを可とし、利用方法の課題を把握する。

（2）実証実験の結果

項目	状 況
車両動線 （出入口）	・ 県道からの右折入場、右折退場が多かった。 ・ JA北側の道路からの直進入場、直進退場もいた。
車両動線 （広場内）	・ 入場後は徐行し、歩行者との接触に注意して運転していた。 ・ 広場内の車両移動は、誘導に従い、小さな子供の飛び出しに注意が必要だった。
接続道路	・ 西側（今回の開錠側）の県道は、加速しながら走行する車両が多かった。 ・ 東側（今回は施錠側）の県道は、信号待ちによる渋滞が慢性的に発生していた。
歩行者 ・ 自転車	・ 西側（今回の開錠側）の車両出入口から出入りして県道を横断する歩行者が散見された。 ・ 自転車は、南側の歩道に接する通常の出入口から入退場していた。



車両出入口

（3）課題と対策

